

ニューウィンド21 VOL80号

令和7年3月定例会 代表質問 登壇

●市長選挙のマニフェストについて

(金ヶ崎)「安心・躍動・創造」をスローガンに「安心」では防災、防犯、消防・救急、医療、介護など「躍動」では子育て・子育てにやさしいまち、市民協働、文化、芸術、スポーツなど「創造」では産業・観光の振興、都市基盤整備、行財政基盤などで79項目の公約を示された。目標達成への意気込みは？

(松村市長)市長2期目は限られた財源で何を優先するのかを見極め、様々な意見交換をしマニフェストについては約束。4年間で全てやり遂げる！



金ヶ崎秀明 議員

●貝副市長について

(金ヶ崎)市職員としてたたき上げで汗をかき副市長に就任された決意は？

(貝副市長)重要施策、実務において、市長を補佐しマネジメントを行なっていく。高い使命感を持ちスピード感を持って全身全霊で取り組む。

●女性に選ばれる地域について

(金ヶ崎)女性活躍推進法が制定され10年、市職員の育児休暇取得率が31.6%、116.6日と向上などを例に、民間でも賃金格差を是正し、能力を適正に評価しジェンダー格差の解消を念頭に更なる取組を要望。

●児童虐待について

(金ヶ崎)改正、児童福祉法が2024年4月に施行。助産婦・子育て世代・子どもへの包括的な支援の中核を担う「こども家庭センター」が設置。本市では年間約850件を超える児童虐待の相談がある。

訪問や健診で乳児状況把握について令和5年度は977件の家庭訪問を実施。「こども家庭センター」は保健師と家庭児童相談員がサポートプランを令和5年12月現在で約500件作成を確認。それに基づく計画的、継続的な支援ときめ細やかな支援体制で一人でも多くのこどもの救出を要望。